

教育課題を見つけ、指導方法を改善

教育指導課指導係

☎0824731184

平成20年1月に市内の全小・中学校で、庄原市全校一斉学力調査を実施しました。

この調査は、全国的な尺度によるデータを基に、市内各校の児童・生徒の学力の定着状況を把握・分析することで、庄原市の教育課題を明らかにし、指導の改善に活用することを目的としています。

【調査結果】

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
小学校	国語	庄原市正答率	89.7	90.2	70.6	72.8	75.4	81.4
		全国正答率	86.5	89.9	70.2	71.5	74.0	81.0
	社会	庄原市正答率			76.3	83.2	75.1	78.9
		全国正答率			78.4	82.4	73.6	73.6
	算数	庄原市正答率	92.7	84.6	80.2	80.9	79.0	84.7
		全国正答率	91.6	82.6	81.9	80.0	79.5	84.9
理科	庄原市正答率			75.3	71.8	74.5	79.2	
	全国正答率			78.4	73.1	72.9	75.6	
中学校	国語	庄原市正答率	69.5	73.6	71.2	*全国正答率は、平成18年度の平均正答率を参考に掲載しています。		
		全国正答率	68.4	71.5	73.7			
	社会	庄原市正答率	65.3	63.5	57.1			
		全国正答率	66.5	64.4	66.1			
	数学	庄原市正答率	66.6	63.2	61.6			
		全国正答率	67.4	66.0	64.9			
	理科	庄原市正答率	59.8	70.1	65.5			
		全国正答率	60.0	67.4	70.5			
	英語	庄原市正答率	77.5	65.7	64.1			
		全国正答率	79.6	67.4	68.2			

記述式の問題で、客観分析

平成18年度までの学力調査では、問題が選択式の解答のみでしたが、平成19年度から記述式の問題がある学力調査に変更しました。このことにより、新しい学力観で問われている「思考力」と「判断力」を客観的に分析できると考えます。

今回の調査結果では、基礎的・基本的な学習内容は概ね定着していました。しかし、自分の考えをまとめて答える論述問題や、複数の資料を比べて分かったことを説明する問題などでは課題があり、さらなる指導方法の改善が必要であることが分かりました。

指導方法の向上に向け研修会

調査結果を踏まえ、教育委員会と学校の先生が組織する「庄原市児童・生徒学力向上検討委員会」の研修会を2月28日に開催し、指導方法の改善に向けた効果的な取り組みについて交流しました。

研修会では、京都ノートルダム女子大学の加藤明教授が「学習指導要領改訂を踏まえた授業改善の視点」と題して講演され、指導を評価に生かすことの大切さと具体について話を聞きました。

この研修内容を、本年度の取り組みに生かし、基礎・基本の学力の定着を進めていきます。



加藤明教授の講演会